

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並保健所維持管理				整理番号	451	枝番号	1			
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	467			
係名				庶務係		上位施策名			No			
予算事業名				杉並保健所維持管理		コード	45150	健康なまちづくりの推進		22		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		11年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 地域保健法					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並保健所設置条例					
	保健所および保健医療センター利用者				(3) 杉並区立保健医療センター条例・同施行令							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				保健所および保健医療センターの 庁舎維持管理 設 備保守管理 備品管理		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					安全で快適な施設および環境を提供する。
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 建物面積				(1) 不具合件数								
(2) 保守委託契約件数				(2)								
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	m ²	6,426	6,426	6,426	6,426	6,426					
	活動指標(2)	件	13	12	13	12	14					
	成果指標(1)	件	13	12	15	12	14					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	94,621	91,570	104,914	81,235	104,241	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成11年4月竣工開始 述床面積は荻窪保健センターを含む 事業の性質上、目標値は設定しない			
	(内)委託費		千円	62,828	65,432	67,053	55,238	68,496				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.41	0.92	0.90	0.60	0.60				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,688	8,274	8,095	5,396	5,396				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	98,309	99,844	113,009	86,631	109,637				
	単位あたりコスト ÷		円	15,299	15,538	17,586	13,481	17,061				
	財源	受益者負担分		千円			1	10			1	
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	1	10			1	
差引:一般財源 -		千円	98,309	99,844	113,008	86,621	109,636					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	92.3	15年度予算執行率%	77.4	光熱水費を前年度より6.7%削減した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		南側窓の新設は、予算がつかず未実施。 平成15年度から講堂の目的外利用を開始した。 平成16年度から監視カメラの保守委託契約を開始した。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年度開始時は、「休日等夜間急病診療所」を年間を通じて開設したが、平成12年度・13年度の平日は休止となる。平成14年度は平日夜間の「小児夜間急病診療所」を開設した。夜間の開設時間が延長となったため、警備員や駐車場管理の委託費が増大した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	庁内の案内板が少ないという声があり、随時整備している。
	今後の予測	建物及び設備の劣化等により修繕費等の経費が増大する。 各課の事業の増減により維持運営経費も増減する。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:保健衛生行政及び健康都市づくりの核である保健所を利用する区民に対し、安全で快適な施設を提供することは、区民の保健福祉向上に必要なものである。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容:設備、清掃、警備等について、委託している。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:定期的な保守点検と修繕により、施設設備の不具合の発生を抑制する。	
成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:各事業利用で負担があるため、当事業の受益者負担はない。 平成15年度から開始した講堂の目的外利用の受益者負担は、条例に基づいており適正である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:環境マネジメントプログラムを徹底することにより高熱水費を削減する。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 予算がつき次第、快適な環境を提供するために南側のロールカーテンを遮光性の高いものにする。 継続して職員一人ひとりの節水・節電の意識を向上させる。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 複合施設なので、勤務する者の形態が違い経費削減の目的意識の徹底が難しい。 各課の事業に伴い維持経費が増減する要素が大きく、一概に前年と比較できない。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 事業の対象となる施設設備の規模に変化がない。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		画像診断装置維持運営				整理番号	452		枝番号					
担当部課名		保健予防課・各保健センター		コード	150532		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	467			
係名		保健予防係・診療放射線担当				上位施策名			No					
予算事業名		保健所等維持運営		コード	49250		健康なまちづくりの推進			22				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 11年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民・施設利用者				(2) 結核予防法・同施行令・同施行規則									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 胸部エックス線撮影の結果のデジタル処理・画像表示・保存・出力等を行うためのCR機器の管理、および保健所・保健センター間のネットワークの管理。				(3) 杉並区保健センター条例									
	活動指標名(式) (1) エックス線撮影検査数 (2)				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 結核対策のため保健所・保健センターでエックス線撮影を行うにあたり、被爆が少なく精度の高いCR機器を適切に使用できる状態に管理する。また、データを電子情報として保存し、ネットワークで結ぶことにより受診者の利便性の向上を図る。 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)エックス線撮影検査数対前年度比 (2)									
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		枚		6,032		7,000		6,192		7,000			
	活動指標(2)													
	成果指標(1)													
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円		59,381		59,110		58,777		59,068		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) エックス線撮影検査数は、結核予防や事業者健診等の事業によって変化するものであり、維持管理について目標値の設定はなじまない。	
	(内)委託費		千円		7,938		8,000		7,938		8,000			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	91		91		90		90		
		非常勤職員分		千円	0	0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	0	59,472		59,201		58,867		59,158			
	単位あたりコスト ÷		円		9,859		8,457		9,507		8,451			
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	0	59,472		59,201		58,867		59,158				
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		0.0		0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)				活動指標(1)の15年度達成率%	88.5		活動指標(2)の15年度達成率%				15年度予算執行率%	99.4		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)														

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年に現在の機器及びネットワークの体制を導入した。15年度から区民健診がすべて医療機関での受診になったため、撮影件数が減少している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	画像をデジタル(電子)保存しているので、フィルムの廃棄(医療法・2年)及び紛失がなくなった。またこのフィルムを添付して医療機関へ区民を紹介することが可能になった。
	今後の予測	医療機関においてもCR機器の導入が進めば、データのやり取りをフィルムでなく電子媒体でできるようになっていくことが考えられる。また、ネットワークについては、光ケーブルなどの大容量回線が普及していくことにより、コストダウンの可能性がある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 結核予防対策に貢献している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: エックス線撮影の多くが、結核予防法に基づき区が実施しているものである。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: CR機器の保守点検については民間業者に委託している。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 事業者健診や障害者施設健診などの受診者が増加すれば、エックス線撮影件数が増加する。
成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: エックス線撮影については、結核予防法に基づき区が行う検診の費用は無料であり、その他については条例に基づき受診者に応分の費用負担をしていただいている。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 機器・回線とも技術開発やその普及により、コストが下がる可能性がある。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 17年度以降について、CR機器の再リースと、ネットワーク使用料について市内LANの利用を検討している。						
結核予防法の一部改正が行われ17年4月1日より施行される。こうした結核対策のあり方と密接に関わるため、総合的に検討の余地がある。							
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input checked="" type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 17年度以降について、CR機器の再リースと、ネットワーク使用料について市内LANの利用を検討している。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		衛生統計調査等				整理番号	453	枝番号		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	468	
係名 庶務係				上位施策名				No		
予算事業名		衛生統計調査		コード	45550	健康なまちづくりの推進				
事業開始年度		○ 昭和 ○ 平成		年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 無作為抽出した世帯および世帯員。出生・死亡・婚姻・離婚・死産届のあったもの。		(1) 統計法 (2) 統計報告調整法 (3) 地域保健法						
事務事業の概要	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）					
	厚生労働省の各種統計調査（人口動態・国民生活基礎調査等）を実施する。人口動態調査については、調査票に基づき杉並区の統計資料を作成する。				各種統計調査を的確に実施することにより、国および区の衛生統計の正確な基礎資料を作成し、地域保健施策に広く反映させる。					
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
		(1) 実施調査数		(1) (代)調査件数						
		(2)		(2)						
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		件	4	11	7	6	7		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		件	17,279	22,188	12,911	12,940	13,000		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,002	1,218	1,920	942	2,415	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 調査内容は厚生労働省より指示があるため、目標値の設定には馴染まない。	
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人	0.51	0.52	1.00	0.50	0.50		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,587	4,677	8,994	4,497	4,497		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	5,589	5,895	10,914	5,439	6,912		
	単位あたりコスト ÷		円	1,397,250	535,909	1,559,143	906,500	987,429		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円	1,063	1,564	1,804	1,097		2,134
		特定財源計 +		千円	1,063	1,564	1,804	1,097		2,134
差引:一般財源 -		千円	4,526	4,331	9,110	4,342	4,778			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	85.7	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	49.1	国民栄養調査対象地区に抽出されなかったため未実施。		
前年度の改革案の取り組み状況(16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		患者調査(指定統計)、受療行動調査(承認統計)は3年周期のため、15年度は実施しなかった。 平成16年度には、医療関係者調査が実施される。 人口動態について杉並区ホームページに掲載した。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	地域保健を取り巻く状況は、急速な高齢化の進展、慢性疾患の増加等により大きく変化してきた。これに伴い、統計調査の種類・様式も見直されている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	調査 = プライバシー侵害の意識が強い。
	今後の予測	調査趣旨の理解を得られず、最初から拒否になり調査が困難になりつつある。留守世帯が多く調査票の回収が困難な状況になっている。 指定統計(国民生活基礎調査、人口動態調査等)については今後も変わらないが、承認統計(保健福祉動向調査等)については、増減が予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 調査は、統計法で定められた指定統計等であり、厚生行政の基礎資料として各種施策に反映されている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 統計法、統計法施行令で、市区町村長の事務が定められている。
	協働等は実現しているか	理由または具体的内容:
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 厚生労働省からの委託事業であり、対象が決められている。
成果向上のための方策		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 直接の受益者はいない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 厚生労働省からの委託事業であり、対象が決められている。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 衛生統計調査について、多くの区民に理解を求め、より多くの調査協力者を得る。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由 厚生労働省からの委託事業であり、対象が決められている。 静態調査・患者調査・受領行動調査が該当の年になるため、予算増となる。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		献血事業の推進				整理番号	454		枝番号			
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	469		
係名				庶務係		上位施策名			No			
予算事業名				保健事業の推進		コード	45750		健康なまちづくりの推進			
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		53 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区献血推進協議会設置要綱					
	16歳～64歳までの区内在住、在勤、在学者。				(3) 献血の推進について(昭和39年8月21日閣議決定) 献血の推進対策について(昭和39年8月22日厚生省業務局長通達)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
杉並区献血推進協議会の開催及び運営を行う。 献血推進のためのPRポスターを掲示する。 献血推進キャンペーンと区役所本庁舎内での献血の実施。				献血思想の普及啓発に努め、安定した献血者の確保を図る。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 区内献血者数				(1) 区内献血目標(予定)者数と実際に献血した人数の割合(%) 献血者数 ÷ 献血目標(予定)者数 = 献血達成率								
(2) 献血実施回数				(2)								
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
				計画	実績		20	年度				
指標	活動指標(1)	人	3,909	2,952	5,000		5,000	5,000	0.0			
	活動指標(2)	回	4	3	4	4	4	4	100.0			
	成果指標(1)	%	78	59	100		100	100	0.0			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	267	267	352	284	259	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 成果指標 13年度 ・計画 = 5,000人 ・実績 = 3,909人 14年度 ・計画 = 5,000人 ・実績 = 2,952人 15年度 ・計画 = 5,000人 ・実績 = 16年度 ・計画 = 5,000人 近年、献血者は減少傾向にあるが、今後も目標値を5000人として、献血の推進に努める。			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.21	0.21	0.20	0.21	0.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,889	1,889	1,799	1,889	1,799				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	2,156	2,156	2,151	2,173	2,058				
	単位あたりコスト ÷		円	552	730	430		412				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0	
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0	
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	2,156	2,156	2,151	2,173	2,058					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	0.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	80.7	献血推進協議会及び献血推進キャンペーン、庁内献血等、計画どおり実施した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		献血推進協議会については廃止とし、新たに連絡会の立ち上げについて具体案を作成した。また、献血推進事業については充実を図るべく、案を作成中である。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	献血推進協議会開設当初は、血液の需要と供給のバランスが悪く、献血思想の普及を推進していた。献血者は昭和59年をピークに減少傾向にあるが、新たに400ml献血や成分献血等の制度が施行されてから、大きな血液不足は生じていない。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	高齢社会に伴い、血液需要は増加傾向にある。一方献血者は10代を中心に減少傾向にある。肝炎やHIV検査目的の献血者が増加していることから、そのような目的では受けないよう、周知する必要がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由：献血キャンペーン等、献血推進のためのPRを行っているが、献血者は減少傾向にある。また、献血事業の大半は血液センターを中心として行われており、区が行う献血はごく一部である。このことから、区で行う献血事業について見直す必要がある。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由： 理由または具体的内容：区が行うべき献血推進の役割を明確にするために、血液センター、東京都献血対策担当等と協議していく必要がある。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容： 理由または具体的内容： 献血推進協議会を廃止することで、運営経費を削減することが可能である。 キャンペーンの見直し等でコストを削減することが考えられる。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容：
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由：受益者負担は発生しない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)		

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 献血事業の大半は血液センターを中心として、区内の日赤奉仕団、企業、学校などの協力のもと、実施されており、区が行う献血の割合はごく一部である。また、現行の献血推進協議会は協議事項が毎年同じことなどから充実した協議をすることが困難である。よって、協議会のあり方を検討するとともに、区における献血事業についての役割を見直す必要がある。次年度からは、協議会を縮小し、連絡会として、円滑な運営を目指すとともに、骨髄移植の推進も加え、さらなる献血等推進事業を展開していく。			
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 協議会の運営体制の見直し。新たに行う献血推進事業の内容など。			
	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由 杉並区献血推進協議会に代わり、新た設置した杉並区献血等推進連絡会の運営を引き続き行う。			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		覚せい剤等乱用防止推進のための啓発活動				整理番号	455		枝番号	
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	
係名		庶務係		上位施策名					No	
予算事業名		保健事業の推進		コード	45750	健康なまちづくりの推進			22	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施要綱					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)					
	薬物乱用防止推進杉並地区協議会		(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
厚生労働省、東京都及び(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターが主催する「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施に伴い、社会問題となっている薬物乱用の防止のため、薬物乱用防止推進杉並地区協議会が実施する各種啓発の活動を支援する。		杉並地区協議会が各種啓発活動を円滑に行うことより、区民等の薬物乱用防止に対する見識が高まる。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 杉並地区協議会との連絡会等開催回数		(1) 啓発キャンペーン等実施回数								
(2)		(2)								
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
				計画	実績		20	年度		
指標	活動指標(1)		1	1	2	2	2	2	100.0	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		4	4	3	3	3	3	100.0	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	46	41	41	41	25	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.20	0.40	0.30		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,698	2,698	1,799	3,598	2,698		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	2,744	2,739	1,840	3,639	2,723		
	単位あたりコスト ÷		円	2,744,000	2,739,000	920,000	1,819,500	1,361,500		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	2,744	2,739	1,840	3,639	2,723			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	100.0	
		駅頭キャンペーン配付用のポケットティッシュを購入し、全て配付した。								
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		駅頭キャンペーン配付用のポケットティッシュは、同協議会で全て購入することとし、区では薬物乱用防止ポスター及び標語にかかる優良賞等の賞品代を支出することとした。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並地区協議会は、昭和50年代半ばの「第2次覚せい剤乱用期」に設立され、薬物等乱用防止の推進に努めてきたところであるが、平成10年に「第3次覚せい剤乱用期」への突入が発表されるなど、近年の覚せい剤を中心とした薬物事犯者が増加傾向にある状況のなか、同協議会の活動がより重要となっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	薬物の乱用等による犯罪が増加している今日、杉並地区協議会の活動を一層推進することで、犯罪を未然に防ぎ、安全で平和な区民生活が送れること
	今後の予測	近年、薬物犯罪の巧妙化、潜在化が言われており、引き続き予断を許さない状況である。薬物の乱用防止には、地域に根ざした活動が必要であり、杉並地区協議会による啓発キャンペーンなどをより強力に進めていくことが求められる

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)		理由:薬物乱用防止のためには、医療、教育、警察等の各分野での取組みが求められており、区が行う啓発活動も必要な取組みの一つである。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)		理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)		理由または具体的内容:同協議会が実施する「駅頭キャンペーン」、「ポスター・標語の募集及び表彰」、「薬物乱用者収監施設への視察」において、準備はもとより、キャンペーン参加、ポスター・標語応募者の賞状作成、賞品の購入などで協力している。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)		
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容)		
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)		理由または具体的内容:事業の主体が同協議会であり、区は人的支援が中心であるため。
成果向上のための方策			
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容:受益者負担には馴染まない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)		理由または具体的内容:キャンペーンの実施時期に合わせ、ポスター、リーフレット、配付用絆創膏などが東京都から送付されている。また、同協議会は、東京都から活動資金として補助金(平成16年度:計16万円)を受けており、区は人的支援に純化する。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区と同協議会との役割分担の明確化は、これからの協働社会の醸成に向けての第一歩である。平成16年度中に役割の分担や区の支援方法などの検討・調整を進めるとともに、平成16年度計上した賞品購入経費を削減し、17年度からは人的支援に純化する。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 同協議会との役割分担の調整に課題が残るが、協働社会の醸成に向けた取組みであることを伝え、理解を求めていく。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 平成16年度計上した賞品購入経費の削減を図る。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助			整理番号	456	枝番号	2				
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	471			
係名				庶務係		上位施策名		No				
予算事業名				保健事業の推進		健康なまちづくりの推進		22				
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		50年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区健康保持事業補助金交付要綱					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 医療技術研修補助金交付要綱					
	事業対象団体				杉並区医師会、杉並区歯科医師会、杉並区薬剤師会、杉並区歯科技工士会、杉並区接骨師会		(3) 杉並区医師会付属看護高等専修学校運営費補助金交付要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業対象団体が実施する区民健康保持事業、医療技術研修事業、看護高等専修学校運営事業、地域医療連携推進委員会運営費に対し補助金を支払う。		(4) 杉並区地域医療連携推進委員会運営費補助金交付要綱					
活動指標名(式)				(1) 補助金申請数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
				(2)		医師会・歯科医師会・薬剤師会が実施する健康保持事業を支援することにより、区民の健康保持増進等を図る。また、歯科技工士会・接骨師会が実施する医療技術研修事業を支援することにより、会員の資質向上を図る。医師会附属看護高等専修学校の運営経費の一部を補助することにより、看護職員の確保等を図る。地域医療連携を推進し、区民の福祉向上に寄与する。						
						(1) (代)実施事業件数						
						(2)						
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
				計画	実績		20年度	年度				
指標	活動指標(1)	件	7	7	7	7	7	6	116.7			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	件	27	28	28	31	31	30	103.3			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,980	7,340	7,340	7,340	6,980	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.21	0.20	0.20	0.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,799	1,889	1,799	1,799	1,799				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	9,779	9,229	9,139	9,139	8,779				
	単位あたりコスト ÷		円	1,397,000	1,318,429	1,305,571	1,305,571	1,254,143				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	9,779	9,229	9,139	9,139	8,779					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	100.0	予算額と比して100%の申請額であり、事業報告も同様である。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初は健康保持事業に対する補助金で始めたが、平成2年度から医療技術研修に対する補助金、平成4年度から地域医療連携推進委員会に対する補助金を追加した。平成11年度から3ヵ年、看護学校に対する補助金を除き削減してきた。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし
	今後の予測	平成16年度末に看護高等専修学校が閉校予定であり、補助金の総額に変化がある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 区民により質の高い医療を提供していくために、医療関係者の研修や健康保持事業に対する補助金は必要である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 補助金という性質から区が行うべきである。
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 医師会、歯科医師会及び薬剤師会の健康保持事業は、区民を対象として毎回テーマを決め、講演の実施、パンフレット等の作成、相談会などで普及・啓発活動に努めている。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	
	協働等の主な形態 共催(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 専門知識を持つ各医療関係団体が対象であるため。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 補助金という性質上、受益者負担に該当しない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 事業実績報告の内容を詳細に検証し、補助額を精査する。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減 成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 普及・啓発活動を中心とした健康保持事業や会員の資質の向上を図るための医療技術研修事業は、区から直接成果が見え難い。しかしながら、区民が医療知識を深め、より高い技術力の治療等を受けられる環境を維持していくことは、区の責務である。また、地域の医療連携体制を構築することで、区内医療における対応力の向上が図られ、間接的に区民への福祉の増進に寄与できる。従って、今後も各団体への補助は必要であるが、事業内容の見直しを各団体とともに実施し、協議のうえ削減の可能性を模索していく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 平成16年度で看護高等専修学校が閉校予定であるため、当該補助金を削減する。また、医師会への健康保持事業補助金も28万円削減する。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区地域保健推進協議会の運営				整理番号	457	枝番号			
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	472		
係名 庶務係					上位施策名			No			
予算事業名 保健事業の推進					コード	45750		健康なまちづくりの推進			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区地域保健推進協議会設置要綱						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 委員対象: 学識経験者、区内各団体の推薦委員、公募委員				(2)						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区民の健康づくりに関すること、地域保健医療計画の推進に関すること。保健・医療・福祉の連携に関すること。保健所及び保健センターの運営に関すること。その他、地域保健の推進に関することについての協議を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区における地域保健推進施策及び保健所の運営等について、各団体(区民)の代表である委員により、課題等を協議することで区民の健康保持・増進を図る。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 協議会開催回数				(1) (代)協議会(議事)件数							
(2)				(2)							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		19年度			
指標	活動指標(1)		回	2	2	2	1	3	2	50.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	11	10	10	6	15	10	60.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	410	473	543	174	543	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 事業の性質上目標値を設定することは難しい。		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.21	0.21	0.10	0.10	0.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,889	1,889	899	899			899
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	2,299	2,362	1,442	1,073	1,442			
	単位あたりコスト ÷		円	1,149,500	1,181,000	721,000	1,073,000	480,667			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	2,299	2,362	1,442	1,073	1,442				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	50.0	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	32.0	平成15年度は3回の協議会開催を予定していたが、大きな動きがなく、1回の開催となってしまった。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			現在の運営体制を今後も継続する。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成9年に、保健所運営協議会を廃止し、保健所運営協議会、健康づくり推進協議会の性格を併せ持つ杉並区地域保健推進協議会を設置した。平成13年度からは、区内の救急医療体制充実を図るため、地域保健推進協議会救急医療検討部会を設置し、平成13年度は小児初期救急、平成14年度は杉並区における救命救急について、検討した。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	委員からは、地域保健医療計画、保健・医療・福祉の連携、区民の健康づくり施策等について、貴重な意見を頂戴している。
	今後の予測	杉並区における医療の充実、及び区民の健康保持を協議するとともに、保健所、保健センターの運営に際し、幅広い分野からの意見を伺うためにも、今後も地域保健推進協議会を継続する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：地域保健施策及び保健所の運営について、幅広く区民や関係団体の意見を聴き、区民の健康保持・増進に務めている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由：区の保健衛生施策について、区民及び各団体の代表から直接意見を聴く機関であるため、区が行う必要がある。
	協働等は実現しているか 協働等の相手 協働等の主な形態	理由または具体的内容：
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容：経費は、委員謝礼のみのため、現状のままである。
	(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由：受益者負担は発生しない。
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由：経費は、委員謝礼のみのため、現状のままである。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「特別区における地域保健医療計画推進協議会設置・運営指針」が廃止されたことから、地域保健推進協議会の設置が任意になった。しかしながら、杉並区における地域保健の充実、及び区民の健康保持を協議するとともに、保健所、保健センターの運営に際し、幅広い分野からの意見を伺うためにも、今後も地域保健推進協議会を継続していく必要がある。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	これまでどおりの運営となるので、増減は発生しない。					

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健所専門職員等による研修事業				整理番号	458		枝番号		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	473	
係名		庶務係			上位施策名				No		
予算事業名		保健事業の推進		コード	45750		健康なまちづくりの推進		22		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				9年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地域保健法						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区杉並保健所専門研修事業実施要領						
	保健衛生に関する知識を必要とする区職員及び関係団体職員				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 上記対象者に保健衛生に関する専門研修を実施する。また、保健所の技術・専門職の知識を活用するため、講師は原則として保健所の専門職で対応する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 保健衛生に関する知識を必要とする区職員及び関係団体職員等の資質の向上を図り、区民福祉の充実に役立てることを目標とする。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 講座開催数				(1) 受講生のうち、アンケート等により成果があったと答えた人の割合(%)							
(2) 講座参加者数				(2)							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		回	6	5	5	4	4			
	活動指標(2)		人	455	329	250	244	250			
	成果指標(1)		%	67	83	80	72	80			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	41	140	158	117	158	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.21	0.21	0.30	0.20	0.20			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,889	1,889	2,698	1,799			1,799
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	1,930	2,029	2,856	1,916	1,957			
	単位あたりコスト ÷		円	321,667	405,800	571,200	479,000	489,250			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引: 一般財源 -		千円	1,930	2,029	2,856	1,916	1,957				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	80.0	活動指標(2)の15年度達成率%	97.6	15年度予算執行率%	74.1	痴呆対策研修の中に、「もの忘れ予防相談」対応技術基礎講座を盛り込んだ。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			保健衛生・高齢者・障害者・児童福祉分野が部として統合されたことによる研修の整理統合には至っていない。効率的実施のための検討が引き続き必要である。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	主として高齢者・障害者分野等に研修を実施してきたが、高齢者分野は介護保険の導入に伴い、新たにケアマネージャーへの研修の必要性が生じている。また、NPO等住民参加型の中小事業者が増加するなど、区民を取り巻く状況が変化している中で、介護をするための知識や技術の向上等に保健所としてアプローチしていく必要性が生じている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	関係団体等の中には、独自の企画が難しく、十分な研修を組めない所が多く、多彩な専門職種を有する保健所への期待は大きい。
	今後の予測	保健福祉部他課とも連携をとりながら、より効果的な研修を開催し、関係団体職員等の資質の向上に取り組む必要がある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 研修を通じて、保健衛生に関する知識を必要とする職員の資質の向上が図られることにより、保健所はもとより高齢者・障害者・児童など関係分野全体の底上げに寄与し、区民サービスの向上に結びついている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 区職員への研修、直接区民との関わりの深い関係団体職員への研修を行うことにより、保健所が保有する技術・専門的知識を広く区民のために有効に活用することができる。 理由または具体的内容:
	協働等は実現しているか	
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 他の研修、事業の日程を把握し、できるだけ多くの参加者が受講できるよう調整する。また、受講後のフォロー研修などで、知識の範囲を広めたり、より深いものにしていく。
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 日々の業務の中で保健衛生の知識を必要とする区職員及び関係団体職員の資質の向上を図るために区が実施するものであり、受益者負担には馴染まない。保健センター機能のひとつ「専門的技術的支援」としての事業であるため。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 研修の企画運営全てを含んでいる訳であり、削減した結果であるため。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 保健衛生・高齢者・障害者・児童福祉分野において、各々の課がそれぞれ独自の研修を行っており、類似の内容も多くみられた。平成13年度、部が統合されたことにより、保健福祉部各課で行ってきた研修について再検討し、整理統合することによって効率化を図ってきた。平成17年度以降も現体系の研修事業を実施する。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 研修内容が多岐にわたり、組織間の調整が難しい。部内の各事業を掌握し、調整する必要がある。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 研修の効率的実施の検討を進めるとともに、痴呆対策研修や在宅栄養士研修等を継続して実施するため。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康都市の推進				整理番号	460		枝番号			
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	475		
係名				庶務係		上位施策名			No			
予算事業名				保健事業の推進		コード	45750		健康なまちづくりの推進			
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 健康増進法					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)					
	全ての区民、団体、企業						(3) 地域保健対策に関する基本的方針					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)							
・健康都市杉並ファロ中央イベント(講演会1回、分野別フォーラム5回)、各保健センター地域イベント5回、協賛イベントを区民・関係団体と協働し開催する。 ・発行目的は、健康都市現状認識の共有、指標の活用である。15年度は、区の子育てに関するニーズ調査や青少年実態調査と連携して「子どもから見た健康都市杉並」(健康都市白書)を発行。				健康都市の理念の共有、地域ネットワークの充実、総合的な健康政策推進のためのシステム整備。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標								
(1) イベント参加者数				(1) (代) イベント参加者数								
(2) 健康都市白書発行部数				(2) 健康都市白書発行部数								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		人	27,052	27,421	25,000	27,215	27,000				
	活動指標(2)		部	40	500	500	600	600				
	成果指標(1)		人	27,052	27,421	25,000	27,215	27,000				
	成果指標(2)		部	40	500	500	600	600				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	993	3,412	4,433	1,819	4,788	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 職員数は管理課16年度0.7、健康推進課16年度0.8 理念の浸透が目標。 将来的な数値設定は、目標になじまない。			
	(内)委託費		千円		2,384	2,876	753	3,226				
	職員数(正規 非常勤)		人	2.08	0.83	0.80	1.80	1.50				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	18,708	7,465	7,195	16,189			13,491	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 ++		千円	19,701	10,877	11,628	18,008	18,279				
	単位あたりコスト ÷		円	728	397	465	662	677				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	19,701	10,877	11,628	18,008	18,279					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	108.9	活動指標(2)の15年度達成率%	120.0	15年度予算執行率%	41.0				
			概ね達成された。									
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			健康都市杉並ファロ開催事業は、14年度から主管課が実質的に保健福祉部管理課に移管され、予算的には15年度から移管されたが、16年度からは保健所健康推進課に再び移管された。基本的な考え方は同様であるが、主管課の違いにより、おのずと事業展開の戦略が異なる。保健福祉部全体としての連携も、地域や事業所を視点に進めていく。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	健康都市杉並の推進基盤整備を図るため、平成12年度より全く新しい考え方の企画として実施。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	中央イベントと地域イベントは、役員が重複するので負担が大きい。地域イベントをつなげる何らかの行事は必要ではないか。などの意見が出される。
	今後の予測	健康都市基盤整備は、広範囲でかつ細部にわたった展開が求められる事業である。区民が主体となった事業展開を優先的に考えることが理念普及に効果的であると考える。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	健康なまちづくりの理念の共有化を図るなど健康都市杉並の推進基盤を整備する事業であり、健康なまちづくり推進、健康を支えるまちづくりのために大きく貢献するものである。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	ファロにおける協働の相手方は、まず、健康づくり地区会連絡会、健康づくりの各自主グループ、その他福祉関係区民団体等であり、協働の形態は、実行委員会等である。また、健康都市に協賛している法人、区民団体は、協賛イベントを独自に開催する形態で参加している。白書の作成は、調査など業者に委託している。冊子の印刷も業者が行っている。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 実行委員会・協議会(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:参加している区民は、基本的に各人が無給で参加しており、各団体もそれぞれの団体の負担による参加であるため、既に相応の負担が行われている。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [事業の統廃合] (具体的内容)	理由または具体的内容:現在の予算は、事務経費分のみであり、現在実施されている事業に関しては、削減は難しい。区民会議については、方向性の再検討と具体化を進める。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在の方法を大きく変更することはないが、区民がより主体的に係われるよう、区民の学習と自覚を促していくことが改革につながると考える。そのため、保健センターと一体となった事業展開が必要である。学習方法等は、健康都市指標など目に見える数値により具体的なイメージを持ってもらうのも一つの方法と考える。時期的な明言はできない。						
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input checked="" type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 これまでの事業展開を重点強化策に取り組みながら継続することが最良の対応策と考える。ただし、区民会議に関しては、今後事業の統廃合を含め再検討する必要があると考える。							

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康づくり推進員				整理番号	467		枝番号					
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	481			
係名				健康推進係				上位施策名		No				
予算事業名				健康づくりの推進		コード	46550		健康なまちづくりの推進		22			
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		9年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 国民の健康・体力増強対策について							
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 国民の健康づくり地方推進事業							
	健康づくり推進員が地域住民の参画を得て、健康なまちづくりを推進していくための拠点としての健康づくり地区会(区内9地区会)				(3) 杉並区健康づくり地区会補助金交付要綱									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)									
補助金を活用し、健康づくり地区会ごとに健康づくり推進員が定例会議を通じて地域特性を活かした活動計画を作成する。計画に基づいて、地域住民に参加を促すとともに健康情報提供のための講座等を運営する。また、健康なまちづくりを課題に町会・自治会をはじめ他団体との交流や学習会を企画・実施する。				地域住民の健康づくり活動が盛んになり、自分たちへの住むまちの健康づくりについて地域住民が主体に考え行動するための地域拠点としての健康づくり地区会になる。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 定例会議開催回数				(1) 地区会事業参加人数										
(2) 地区会事業開催回数				(2)										
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%					
				計画	実績		17年度	年度						
指標	活動指標(1)	回	72	59	90	102	90	90	113.3					
	活動指標(2)	回	46	72	45	64	45	45	142.2					
	成果指標(1)	人	1,979	2,388	1,350	2,159	1,350	1,350	159.9					
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	814	2,773	894	887	894	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0						
	職員数(正規 非常勤)		人	3.43	3.20	4.04	4.13	3.43						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	30,849	28,781	36,336	37,145	30,849						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	31,663	31,554	37,230	38,032	31,743						
	単位あたりコスト ÷		円	439,764	534,814	413,667	372,863	352,700						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0			
差引:一般財源 -		千円	31,663	31,554	37,230	38,032	31,743							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	113.3		活動指標(2)の15年度達成率%	142.2		15年度予算執行率%	99.2					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		委嘱制度から補助金交付団体としての新体制のもとに2期目をむかえ、主体的な活動が定着してきた。各町会・自治会からの推薦および公募により選出された健康づくり推進員約180名がボランティアとしての活動を開始するための「発足会・研修会」、健康づくり9地区会の情報交換のための連絡会等の開催についても、自主的に取り組めるようになった。												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	住民参画を視野に入れた健康づくりリーダーを育成するため、平成9年から健康づくり推進員制度を発足させた。委嘱方式により二期4年間継続してきたが、13年度から地域住民が主体的にとりくむ健康なまちづくり活動を推進するための拠点としての健康づくり地区会(9地区会)設け、補助金交付団体となった。2期目をむかえ活動も軌道に乗ってきた。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・日ごろ健康に関心を持たない地域の人たちにとって地域の身近な場所での講習会は、参加しやすい。・同じ立場の住民からの誘いや話は、気軽に受け入れられる。・講師交渉や他の健康づくり地区会の推進員との連絡調整等へ出かける際の交通費等、活動のための必要経費の保証はされないのか。
	今後の予測	・町会等の地域団体との交流が活発になり、健康づくり地区会活動が地域住民の間に浸透していく。(平成18年)・9つの健康づくり地区会の多様な活動がさらに発展し、地域住民の合意による健康なまちが具体化される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか		理由: 健康を支えるまちの実現にむけ、区民の健康づくりを身近な社会の中でささえて行けるよう、自主的な地域活動の充実を図る施策に多に貢献している。こうした健康づくり地区会の活動が、住民の誰もが安心して健やかに暮らせる「健康都市杉並」を実現させていくことにつながっていく。
	貢献度 大(理由)		
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は		
	行政が自ら実施(理由)		
	協働等は実現しているか		
	一部実現している(^)		
協働等の相手		理由: 理由または具体的内容: 健康なまちづくりに向け住民参画が実現されるよう、健康づくり推進員が健康づくり地区会を拠点に講座開催や地域団体に働きかけを行う。(講座等の開催3~4回/年、町会等との交流、定例会議10回)	
NPO・ボランティア・市民活動団体(^)			
協働等の主な形態			
補助・助成(具体的内容)			
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか			
できる(^)		理由: 現在の活動形態になって3年が経過したが、健康づくり推進員はこうした活動への参加を契機としてまちへの関心を深めている。健康づくり推進員経験者が地域に増大することにより、健康なまちづくりにむけた活動が活発になり、事業成果向上につながる。	
成果向上のための方策			
その他(具体的内容)			
(4) 受益者負担の見直し余地は		理由: 地域の主体的な活動への助成である。運営方法は、地域住民の決定であり、催しの内容によっては受益者負担を実施している。	
ない(理由)			
(5) コストを下げる余地はあるか		理由または具体的内容: 現体制が発足して間もないこともあり、活動助成のための補助金が減額された場合には健康づくり推進員の士気低下につながるため、当面コストをさげることはできない。	
ない(理由)			

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 本事業の地域住民への周知を主な課題として健康関連講演会・講座等の企画運営に重点を置いてきたが、今後は町会・自治会をはじめ地域内に存在する団体への働きかけや交流を計画的にすすめ、健康なまちづくりへの参画者を増加させていく。このことにより、協働関係が充実の方向へと向かう。		
	(2) 「改革案を実施するあたりの阻害要因と克服方法」		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	実施体制を変更することなく取り組み課題の優先順位を変えるものであるため、事業費には影響を与えない。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域健康づくり支援事業				整理番号	468		枝番号		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	482	
係名		健康推進係			上位施策名				No		
予算事業名		健康づくりの推進		コード	46550		健康なまちづくりの推進		22		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				9 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地域保健法第6条						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 健康づくり自主グループ活動を希望する区民				(2) 国民の健康づくり地方推進事業実施要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 保健センターで行う講座等の修了者に、自主グループ結成を促す。誕生グループへは、発展段階に合わせて健康的な生活習慣定着と仲間づくり等を目標に育成支援する。その後は自立グループとして、主体的な地域活動や地域リーダーとして健康なまちづくりに取り組めるよう依頼に応じて支援する。				(3) 地域健康づくり支援事業実施要領						
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 健康づくり自主グループを多数誕生させ、その成熟を目指して支援することにより、地域で主体的に活動する自主グループが増加し、ネットワーク化が図られ、区民の健康づくり活動が広がっていく。						
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 新規誕生自主グループ数				(1) 自立した(発足後3年経過)健康づくり自主グループ数 / 平成12年度に誕生したグループ数							
(2) 共同事業実施回数(グループと行政が共同で行う事業)				(2) ネットワーク交流会参加グループ数 / 支援中の自主グループ数							
指標	区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		17年度			
	活動指標(1)	グループ	30	14	20	28	20	20	140.0		
	活動指標(2)	回	32	17	25	22	25	25	88.0		
	成果指標(1)	%	53	78	60	70	60	60	116.7		
成果指標(2)	%	94	125	90	145	90	90	161.1			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,269	1,102	1,647	1,122	1,647	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	5.91	4.98	5.17	5.28	5.58			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	53,155	44,790	46,499	47,488	50,187			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	54,424	45,892	48,146	48,610	51,834			
	単位あたりコスト ÷		円	1,814,133	3,278,000	2,407,300	1,736,071	2,591,700			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	54,424	45,892	48,146	48,610	51,834				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	140.0		活動指標(2)の15年度達成率%	88.0		15年度予算執行率%	68.1		
		誕生グループ数は目標を達成した。共同事業の予算執行率が低率となったが、企画内容が専門職員での対応など、予算執行を伴わないものが多かったためである。									
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		健康づくり自主グループ発展段階別支援システムの構築のため、検討を開始した。より充実したグループ支援を行うために、自主グループの活動歴、支援計画などの情報を総合的に分析し、システム構築の資料を作成している。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始後7年が経過し、127の自主グループが誕生した。こうしたグループが保健所等で行うファロイベント等を、地域団体や住民を巻き込み事業展開を行ってきた。さらに、各保健センター自主グループの代表者組織としての「杉並健康ネットワーク」が、健康づくり関係者以外の住民にむけ講演会等を開催し、「健康都市杉並」の実現への協働を広くよびかけている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	健康づくり自主グループの活動について、また保健センターの自主グループへの活動支援について積極的に住民に周知すべきだ。(定年退職後の生きがいづくりにつながるため)・自立グループになっても、活動の場の確保や職員の支援を継続してほしい。
	今後の予測	健康づくり自主グループが毎年誕生するとともに、自立グループも増加する。各々のグループの活動も多彩になり、互いに触発されることによって活動の充実が図られる。「杉並健康ネットワーク」の活動の充実により、個人個人の生きがい活動から健康なまちづくりへの積極的な取り組みなど協働の対象としての活動の実現が予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 自主グループの活動支援が住民の主体的な地域活動につながり、さらには健康なまちづくりにむけた住民参画となる。そのため本事業は、施策への貢献度は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 住民が自分たちの住むまちの健康づくりに主体的に取り組むことができるよう支援していく事業は、行政が直接的におこなうことが望ましい。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容:
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)	事業の対象者(健康づくり自主グループ)が協働相手となるように支援している事業である。また、「健康都市杉並」推進イベント等では、協働が実現している。
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 自主的なグループ活動を基本としているため。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: すでに最低限のコストで実施している。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業成果の向上にむけて、担当職員一人ひとりのグループ支援技術を充実させる。そのために、「健康づくり自主グループ活動支援計画書」を用いて現在支援中のグループ分析を行い、自主グループ発展段階別支援マニュアルを作成する。その後、支援システムづくりにつなげる。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 担当系の業務執行方法とチーム方式による業務執行方法との整合性を図る。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	職員の支援技術の向上により対応できるため、予算増減はない。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特定給食施設指導				整理番号	473		枝番号		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	488	
係名 健康推進係					上位施策名			No			
予算事業名 特定給食施設指導					コード	46950		健康なまちづくりの推進		22	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 27 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 健康増進法第18条の2、第20条、第21条の3、第22条						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区健康増進法施行細則第3条、第4条、第5条						
	特定給食施設(特定多数人に対して継続的に食事を提供する施設)及び栄養管理上指導の必要性が高い給食施設				(3)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 主に施設への巡回及び保健所への来所により、栄養管理について個別指導を行う。また、栄養報告の提出を求め、必要に応じて施設指導を行う。栄養情報の提供や給食調理技術の向上を図るため、給食施設の管理者、栄養士、その他の従事者を対象にした栄養管理講習会等を開催する。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 喫食者にとって、適切な栄養量が保証されかつ健康づくりを配慮した給食が提供され、これを通じて喫食者が健康づくりのための知識を習得できる施設にする。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 施設への巡回指導及び来所指導				(1) 基準栄養量に見合った給与栄養量を確保している施設数 / 栄養報告書提出施設数							
(2) 講習会参加者数				(2) 喫食者に栄養及び健康教育を実施した施設数 / 栄養報告書提出施設数							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)		施設	65	143	100	87	100	100	87.0	
	活動指標(2)		人	172	141	150	144	150	150	96.0	
	成果指標(1)		%	56	59	70	51	70	60	85.0	
	成果指標(2)		%	68	73	70	50	70	60	83.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	340	351	356	326	361	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.57	0.67	0.68	0.92	0.77			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,127	6,026	6,116	8,274	6,925			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	5,467	6,377	6,472	8,600	7,286			
	単位あたりコスト ÷		円	84,108	44,594	64,720	98,851	72,860			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	5,467	6,377	6,472	8,600	7,286				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	87.0	活動指標(2)の15年度達成率%	96.0	15年度予算執行率%	91.6	ほぼ目標を達成した。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			改革案への取り組みとして給食施設の課題解決を掲げており、重点指導施設として15・16年度中に児童福祉施設の栄養管理の徹底および食育実践のための技術提供を行った。このことを契機に、対象施設が杉並区集団給食研究会のなかで児童部会として「食育」をテーマに積極的な取り組みをはじめた。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	近年、外食利用の増加等により集団給食の役割が変化してきた。給食運営においては、朝食欠食者の増加や嗜好偏重等飽食対策が求められ食教育に重点が置かれ始めた。本事業の根拠法令であった栄養改善法が健康増進法に改められ、提供する給食の栄養管理の充実から喫食者の健康管理に直結した給食提供へと給食運営の主旨が変更された。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> ・喫食者への栄養教育に取り組みたいので、手法を知りたい。 ・高齢者施設の栄養管理について、個別指導をうける機会があつてよかった。 ・給食施設を委託した場合の委託側と職場側の栄養士の栄養管理のあり方、手法を知りたい。
	今後の予測	健康増進法では、大規模施設(1回100食以上の給食を提供する施設)の管理指導基準や管理栄養士指定施設等が明記されているが、これに該当する施設は現時点でも少なく、今後も減少傾向が予測される。これに対して、栄養的な配慮を要する中規模施設(高齢者・乳幼児・障害者他)が多く、こうした施設への指導がさらに重要になってくる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:、給食を通して、区民の食習慣の改善、生活習慣病予防のきっかけづくりの場として重要であり、こうした施設の存在は健康な社会の仕組みとして重要であり、健康なまちづくりの推進施策につながるものであるが、特定給食施設事自体減少している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由:理由:健康増進法に基づく自治事務である。
	協働等は実現しているか 協働等の相手 協働等の主な形態	理由または具体的内容:
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか 成果向上のための方策	理由または具体的内容:
	(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:事業として、受益者負担を導入する性格の事業ではない。
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:最低限のコストで事業を行っている。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業を効果的に推進するため、2年毎に重点施設を決め対応している。この方法を継続していく。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性			<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ヘルシーメニュー推奨店				整理番号	480		枝番号		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	499	
係名 健康推進係					上位施策名			No			
予算事業名 健康づくりの推進					コード	46550		健康なまちづくりの推進		22	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) ヘルシーメニュー推奨店実施要綱						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)						
	飲食店等(一般飲食店、すし屋、そば屋、弁当屋、惣菜屋、仕出屋、集団給食施設)及び区民				(3)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 健康な食環境づくりにむけ、飲食店がメニューの栄養成分表示や、主食、主菜、副菜が揃い、栄養バランスのとれたヘルシーメニューの開発、健康・栄養情報の提供等を行えるよう栄養アドバイザーの派遣等、担当栄養士が支援する。こうした条件が整備された飲食店をヘルシーメニュー推奨店として認証し、ステッカー等の表示、広報、HP等で区民に周知する。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 外食を利用する区民の健康づくりに配慮した飲食店や、そうした飲食店を利用し、意識しなくとも健康的な食生活をおくる区民が増加する。また、飲食店同士または飲食店と利用客が互いに触れあうことで飲食店自らがこれまで以上に健康な食環境づくりに邁進する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標							
(1) ヘルシーメニュー推奨店の認証				(1) ヘルシーメニュー推奨店になって客が増えた飲食店の率(ヘルシーメニュー推奨店になって客が増えた飲食店/ヘルシーメニュー推奨店)							
(2) ヘルシーメニュー推奨店への取り組み数				(2)							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)		店舗	43	47	60	41	60	60	68.3	
	活動指標(2)		店舗	56	96	60	70	60	60	116.7	
	成果指標(1)		%	69	50	80	58	80	80	72.5	
	成果指標(2)		%								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	851	1,941	1,744	1,431	2,071	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	5.91	4.92	5.17	0.92	1.18			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	53,155	44,250	46,499	8,274	10,613			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	54,006	46,191	48,243	9,705	12,684			
	単位あたりコスト ÷		円	1,255,953	982,787	804,050	236,707	211,400			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	54,006	46,191	48,243	9,705	12,684				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	68.3	活動指標(2)の15年度達成率%	116.7	15年度予算執行率%	82.1			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			29飲食店分のヘルシーメニュー推奨店認証式の開催が16年度となったため、活動指標(1)の対象外となった。飲食店向け講習会のテーマによっては、民間技術者レベルの講師による開催であったため、謝礼金を抑制することができ、かつ成果を向上させることができた。 栄養アドバイザーを増員し、飲食店への対応を迅速に行うようすすめてきた。店内に掲示する栄養、健康情報等の表示物は、飲食店の希望を取り入れ、店の雰囲気を損なわない媒体の作成が実現し、消費者からも好評を得ているということである。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	主に商店会ごとに取り組み、ヘルシーメニュー推奨店を誕生させてきた。また、飲食店以外の商店も含んだ商店街の活性化や健康な商店街づくりに繋いでいくために、商店会のイベントなどの企画運営にも参加している。近年、行政からの勧奨以外に、飲食店自らが本事業へ申請してくるケースが増えてきた。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・近隣で利用できるヘルシーメニュー推奨店を増やしてほしい。・ヘルシーメニュー推奨店の情報を、わかりやすくタイムリーに区民等利用者に提供してほしい。・食事内容だけでなく、禁煙などの環境づくりも行ってほしい。・禁煙についての説明を受けても、利用客のニーズや店内の条件などにより禁煙、分煙はむずかしいという飲食店もある。
	今後の予測	ヘルシーメニュー推奨店が多数誕生してくるにより、他の飲食店や区民にも周知され、ヘルシーメニュー推奨店を希望する飲食店が増えてくることが予測される。また、認証期間の更新を迎えた飲食店が集い、今後の発展にむけ、ヘルシーメニューネットワークをつくり、主体的な活動の取り組みが始る。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:健康を意識しなくても、ヘルシーメニューを選ぶことで健康的な食事を摂ることができる。また、生活習慣病が気になる人でも、栄養成分表示を参考に食事を調整することができる。なかでも、働き盛りの男性の生活習慣病予防や健康づくりに貢献度が高く、健康なまちづくりには不可欠な要素である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:健康な食環境づくりの一環として、行政が計画的推進していく役割を果たすべきであるが、NPO等の協力により成果向上につなげることは可能である。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容:現在栄養アドバイザーが担当している表示媒体作成に関する事務等については、NPO等の協力を得ることができ、その業務量は大きい。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:	
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:健康的な食事提供に取り組むよう飲食店に動機付けを行うことは行政の役割である。再認証店に対しては、本事業の定着がはかられ売上向上等飲食店側のメリットが評価されるよう取り組みを充実させ、受益者負担を行っていく計画である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:すでに最低限のコストで実施している。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1)改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新規のヘルシーメニュー推奨店の開拓と並行して、再認証店をはじめすでに登録しているヘルシーメニュー推奨店に対してもフォローアップを行う。具体的には、飲食店を利用する消費者にとって正しい健康情報の選択と活用を提供していくことを検討している。		
17年度方針	(1)17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健センター維持管理				整理番号	510		枝番号				
担当部課名		荻窪、高井戸、高円寺、和泉、上井草各保健センター		コード		連絡先電話番号	4508		昨年度整理番号	535			
係名 業務係					上位施策名					No			
予算事業名 保健センター維持管理					コード	49750		健康なまちづくりの推進			22		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 保健センターを利用する一般区民及び保健センター職員				(2) 杉並区保健所の設置等に関する条例 杉並区保健所センター条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 庁舎・設備機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって、快適な環境を整備する。								
	活動指標名(式) (1) 建物面積 (2) 保守委託契約件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不具合件数 (2)								
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
							計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標(1)			5,893	5,893	5,893	5,893	5,893					
	活動指標(2)			51	51	51	51	51					
	成果指標(1)			94	60	60	52	50					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	106,940	66,690	61,191	53,011	62,059	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 保健センター面積(m) 荻窪 = 1335.88 高井戸 = 1356.74 高円寺 = 1764.74(分室含む) 上井草 = 815.37 和泉 = 620.18 計5892.91				
	(内)委託費		千円	36,821	33,331	31,432	29,908	32,976					
	職員数(正規 非常勤)		人	7.45 0.00	6.45 0.00	6.28 0.00	6.38	6.65					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	67,005	58,011	56,482	57,382	59,810					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	173,945	124,701	117,673	110,393	121,869					
	単位あたりコスト ÷		円	29,517	21,161	19,968	18,733	20,680					
	財源	受益者負担分		千円	220	279	221	232					254
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	220	279	221	232					254
差引:一般財源 -		千円	173,725	124,422	117,452	110,161	121,615						
受益者負担比率 ÷		%	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	86.6	日々の各種メンテナンスを実施することにより、安全な施設運営ができています。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			ISO14001の趣旨に沿い、使っていない部分の消灯や空調の効率的使用などを光熱水費の削減をはかっている。その他、各センターの実情に応じ、備品の更新や設備の改修を行い、快適に施設利用できるようつとめている。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスの質やあり方にも変化が求められている。センターは施設の老朽化に伴い、設備修繕が多々発生し、修繕費の支出が増加の一途をたどっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	トイレの換気不良、エレベーターの設置など施設の老朽化に伴う要望がみられる。また、センターの場所がわかりにくいところもある。
	今後の予測	健診・相談事業の必要性、地域活動の重要性は高まるばかりである。その拠点として十分な活動を行うためにも、設備の計画的な更新が必要であるが、大規模修繕は財政や空間の余裕がなく、実現は困難である。日々施設の状況把握につとめているのを継続していくとともに、必要な修繕を実施していく必要がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:すべての区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や相談など年代別に応じた保健サービスを提供する施設であり、区民の保健福祉への貢献度は大きいと考える。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由:地域保健法及び区条例に基づく設置施設であり、区職員が勤務する保健センターの維持管理は、区の事業として不可欠である。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由:地域保健法及び区条例に基づく設置施設であり、保健センターの維持管理は、専門の知識と技能を持った業者に委託している。 【委託内容】 1、庁舎清掃 2、冷暖房設備保守 3、庁舎警備 4、電気工作物保守 5、消防設備保守 6、自動扉保守 7、電話交換設備保守 8、消火器点検
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容:施設の老朽化の進行	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由:地域保健法に基づく利用者または保健センター条例による利用者であり、使用料条例に基づく現在の受益者負担は適切である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由:節水、節電による光熱水費の削減、IT化によるペーパーレスの促進、ごみの減量化、施設保守管理において委託契約内容の見直しによる委託料の効率化。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 高齢者、障害者、難病患者の来所が今後も見込まれるので、施設のバリアフリー化を検討していく。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 各センターの建築、設備関係での改修工事を要するものについて、予算見積を行うため。						